

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~2日	1月 ~9日	1月 ~16日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	9	19 (33)	14
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	8	0 (3)	2
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	2	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	5	5 (15)	8
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	7	1 (2)	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	0	2	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	0	0	2

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第2週(1月10日~1月16日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2			1		1		
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1					1		
五類	9	クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		百日咳	1					1		
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	6					3	1	2
新型インフルエンザ等感染症	6,559	新型コロナウイルス感染症	6,559	721	440	329	94	3,858	603	514

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

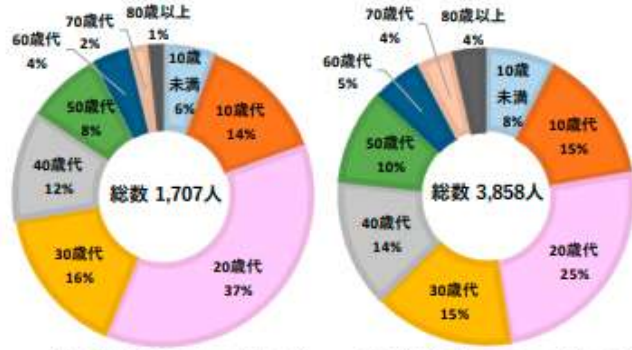
1 新型コロナウイルス感染症

第2週に3,858件の報告があり、急増しています。また、1日の新規感染者数は、過去最多の870人(1月16日発表)を記録しました。

年齢階層別割合は、前週は20歳代が37%と突出して高く、次に30歳代が16%と、若い世代が高い状況でした。今週は、前週と比較して10歳代以下や40歳代以上が増加しており、感染が各年代に広がっていることが伺えます。

これ以上の感染拡大を防止するため、基本的な感染防止対策に加え、外出の半減、出勤者の削減、体調不良時の早期受診、検査の積極的受検などの対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症
 新規感染者の年齢階層別割合(広島市)



第1週(1月3日～1月9日) 第2週(1月10日～1月16日)

2 感染性胃腸炎

定点当たり7.54人と、前週と比べて増加しました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

広島県実施のPCR等検査

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
 PCR検査の実施について(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/269/hiroshimapcrcenter.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	15.04		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.10	
小児科	咽頭結膜熱	5	0.21	0.28		眼科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.29	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.29	1.65			急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	181	7.54	6.22	↗	基幹	流行性角結膜炎	1	0.13	0.38	
	水痘	2	0.08	0.64			細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	25	1.04	0.11	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.27			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
	突発性発しん	2	0.08	0.28			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06	

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	1	80歳代
4	レジオネラ症	1	1	50歳代
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	90歳代
5	梅毒	3	5	20歳代、50歳代、60歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	2	90歳代
5	百日咳	1	1	10歳代